

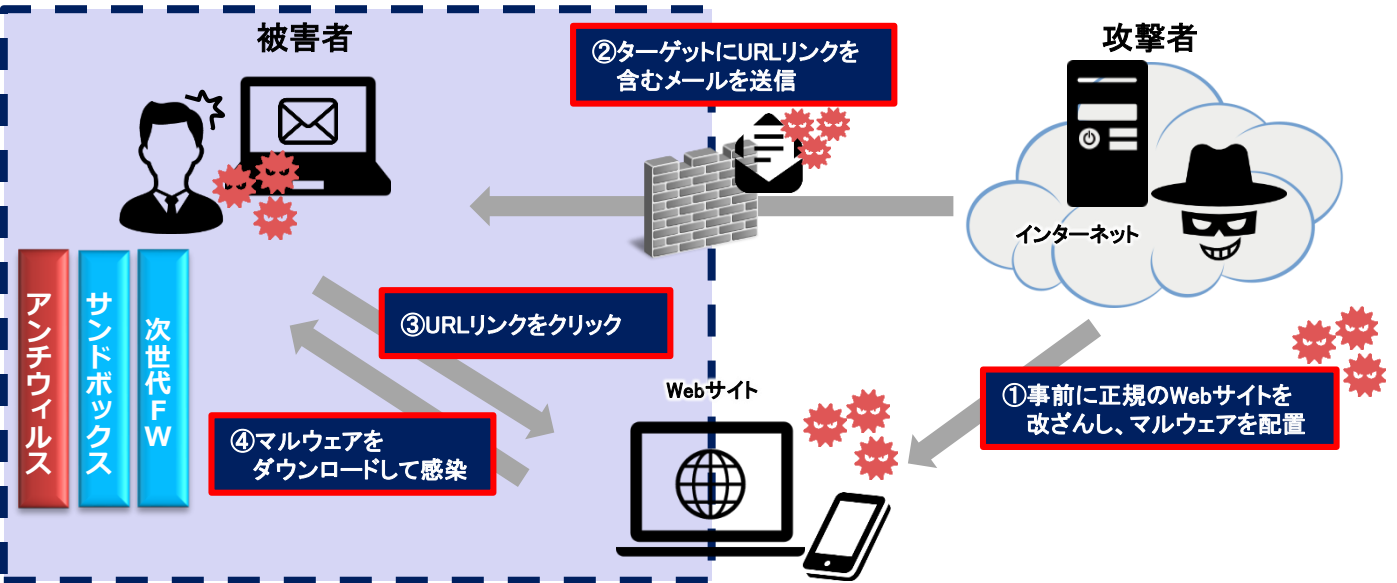
標的型メール訓練サービス

疑似標的型メールを配布する訓練を実施し、
標的型攻撃に対する社員の認識向上を支援します

https://www.kccs.co.jp/secureowl/solution/pdf/leaflet_targeted_mail_training.pdf

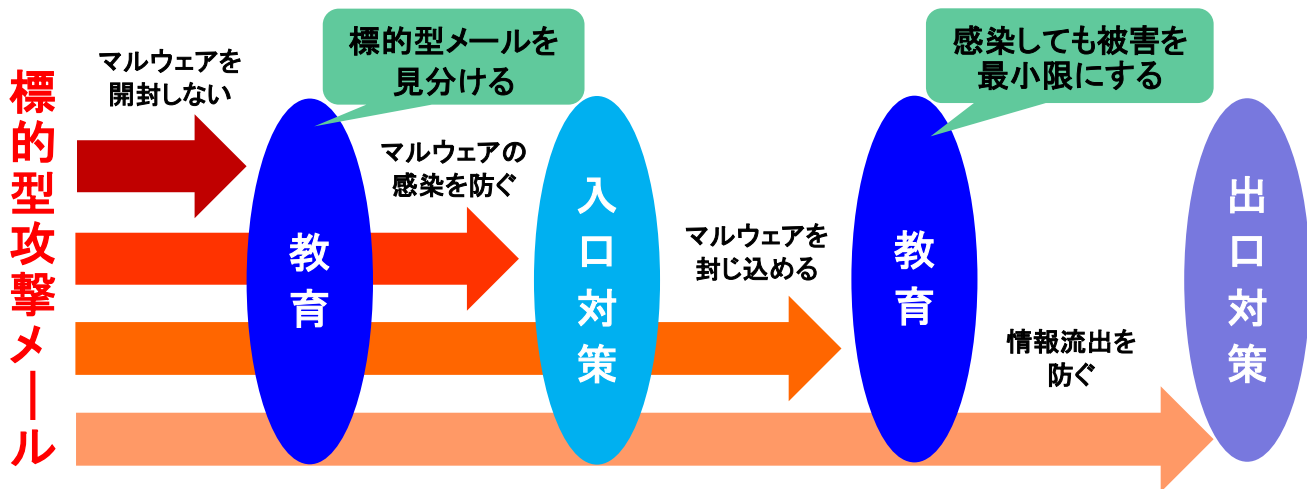
標的型メール攻撃とは

特定の組織内の情報を狙い、メールを利用して組織内のPCをマルウェアに感染させ、遠隔操作により企業情報や個人情報を盗み取る攻撃手法です。近年巧妙化する標的型攻撃に対しては、既存のセキュリティ製品による対策だけでは100%の防御が難しくなっています。



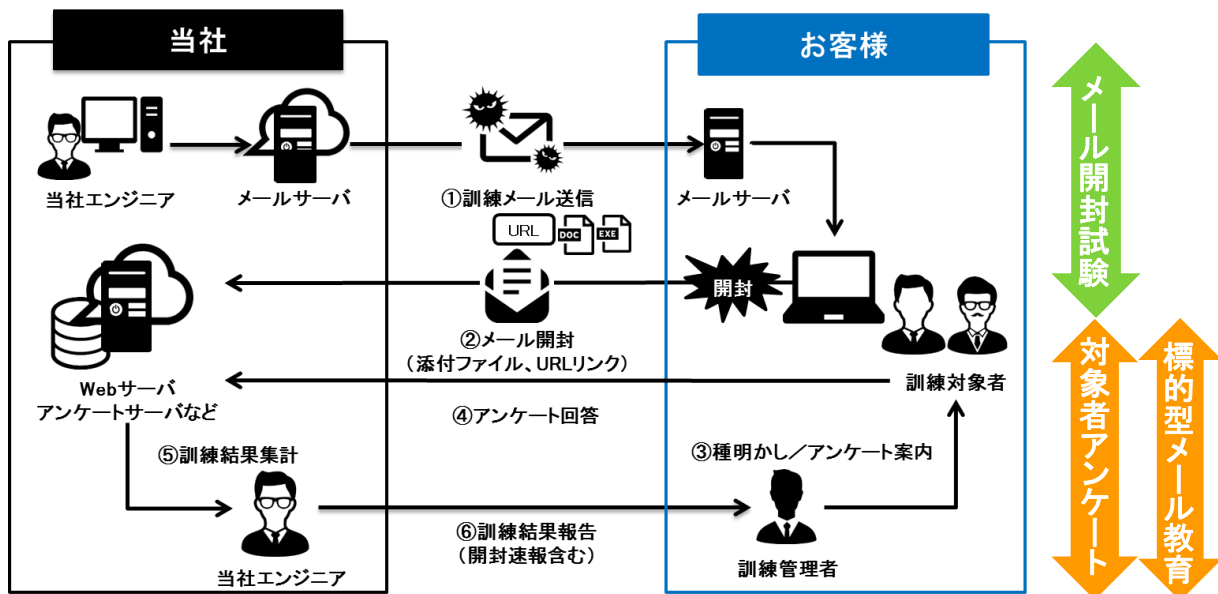
- ① ゼロデイ攻撃や新種のマルウェアなどは、既存のセキュリティ製品では完全に防ぐことが困難
- ② 標的型メール攻撃は日々巧妙化しており、メール受信者が全く違和感を覚えないことも

多層的な対策を実現するために、 標的型メール攻撃への教育が必要！

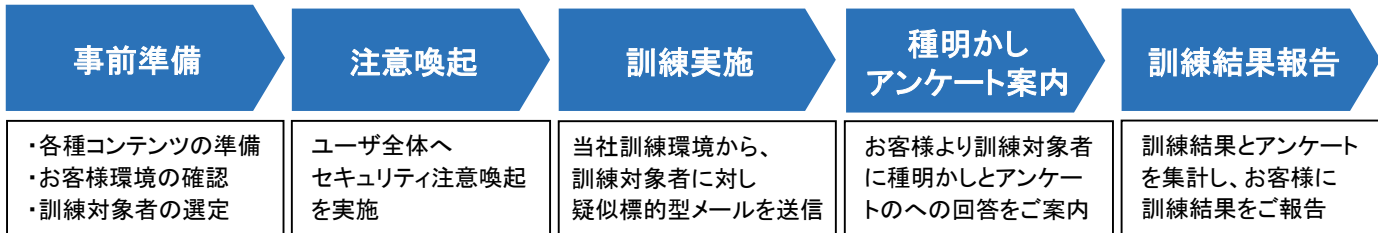


標的型メール訓練サービス概要

自組織のユーザに対して、疑似的な標的型メールを送信し、各ユーザの対応（不審な添付ファイルやURLリンクのクリック、社内部門への連絡）や訓練後のアンケートをもとに、組織全体の標的型メールへの耐性を評価し、認識向上を図ります。



サービスの流れ



※アンケート(Web)の実施および報告会の実施はオプションとなります。

さまざまな訓練メールパターン・教育コンテンツからカスタマイズが可能



さまざまな訓練メールパターンや、メール開封時の教育コンテンツをご用意しており、お客様のご要望に応じたカスタマイズが可能です。実際に被害にあった際の状況や昨今の攻撃トレンドを踏まえた訓練メールを設定可能です。

セキュリティアナリストによる分析と評価



訓練実施後はメール開封者の特定だけではなく、訓練対象者へのアンケート結果をもとに、精度の高い原因分析を行い、効果的な対策（追加教育など）が可能です。組織のウィークポイントやメール開封時の行動を、お客様のセキュリティポリシーと照らし合わせて評価します。

価格

アドレス数 1~500	訓練メール1回送信	¥610,000~(税抜)
	訓練メール2回送信	¥760,000~(税抜)

- 注1) 訓練メール送信回数が2回の場合、2回目の送信は1回目から2週間以内の実施となります。
 注2) ご利用されているシステム環境やメール環境により、ご要望の訓練が実施できない場合があります。
 注3) 本訓練はクラウド環境上の当社メール訓練システムにて実施します。
 注4) 本サービスの報告書は日本語での納品となります。

●記載の製品ならびにサービス名および会社名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。●サービス内容は予告なく変更する場合があります。●KCCSは京セラコミュニケーションシステム株式会社の略称です。



京セラ コミュニケーションシステム株式会社

KCCSカスタマーサポートセンター

フリーコール 0120-911-901

携帯電話・PHS・IP電話など 050-2018-1827

受付時間 平日9:00 ~ 17:00

(17:00以降のお問い合わせは自動応答になります。)

KCCSホームページ <https://www.kccs.co.jp/>

E-mail: kccs-support@kccs.co.jp